

社団法人シナリオ作家協会 平成23年度事業計画書

事業の状況

1. 顕彰事業に関する事項

1) コンクール委員会 旧・新人シナリオコンクール委員会、大伴昌司賞委員会 (担当：荒井晴彦(長))

23年度より、委員会を編成し直し、新人シナリオコンクール委員会、大伴昌司賞委員会をまとめて「コンクール委員会」とすることとした。

23年度は、第21回新人シナリオコンクールを、例年どおり一般社団法人映画演劇文化協会との連名で主催し、東宝株式会社が協賛となって開催する予定である。応募締切は9月末日(当日消印有効)。また、24年度に当協会が一般社団法人へ移行することに関連して、シナリオ講座と通信講座の学内コンクール「大伴昌司賞」が23年度より「特別賞 大伴昌司賞」として「新人シナリオコンクール」の一部門として合併される。例年のとおり、会員各位には審査員としてご協力をお願いしたい。

2) シナリオ作家協会「菊島隆三賞」運営委員会

(担当：柏原寛司(長) 荒井晴彦、加藤正人、西岡琢也、佐伯俊道、伴一彦、丸内敏治、山田耕大、白鳥あかね 合同常務会が運営)

年間に発表されたすべての映像作品の脚本の中から、最も優れた作品を、脚本家が選び、その作者を顕彰する『日本シナリオ作家協会「菊島隆三賞」』を、毎年、合同常務会で運営内容を検討し開催している。

19年度開催の第10回で菊島隆三賞基金での運営が終了したため、20年度より、文化庁の助成と、組合、会館の協賛金を得て運営していたが、22年度は文化庁の助成金が得られなかったため、できるだけ費用のかからないかたちで運営した。23年度も同様に、できるだけ費用のかからないかたちで運営する予定である。選考会前には、会員各位にノミネート候補作の投票を募っており、今年度もご協力をお願いしたい。

なお、昨年までは『日本シナリオ作家協会「菊島隆三賞」』という名称で運営をしていた

が、主催団体である、当法人名とそぐわないため、今年度より『シナリオ作家協会「菊島隆三賞」』と変更した。

2. 教育事業に関する事項

1) シナリオ通信講座委員会

(担当：森川治(長) 学長：小山内美江子)

22年度は、受講生数が大幅に減少した。受講内容、受講料などを変更したことが影響したものと思われる。そのため、23年度は受講生募集を4月いっぱい打ち切り、年度内の早い時期に、受講生数を増やせる新しい体制で運営を開始する予定である。

通信講座生のスクーリングとして、「2011年夏の公開講座」を、7月16日(土)～18日(月・祝) お台場・東京国際交流館プラザ平成で開催予定である。

2) シナリオ講座委員会

(担当：桂千穂(長・学長) 名誉学長：新藤兼人)

シナリオ講座は23年度で開講29年目を迎える。前身の「シナリオ研究所」から数えると44年目である。当講座は、これまで数多くのプロのシナリオ作家を輩出し、現在もその多くがプロとして活躍中であり、教育事業としての大きな役割を果たしている。会員各位には、講師としてご協力をお願いしたい。

3. 出版事業に関する事項

1) 出版委員会 旧年鑑代表シナリオ集編纂委員会・出版委員会・シナリオ誌監修委員会・推薦委員会

(担当：大津一瑠(長) 青島武、荒井晴彦、井上正子、柏原寛司、桂千穂、久保田圭司、白坂依志夫、向井康介、井土紀州、白鳥あかね)

23年度より委員会を編成し直し、年鑑代表シナリオ集編纂委員会、出版委員会、シナリオ誌監修委員会、推薦委員会をまとめて「出版委員会」とすることとした。

当協会では、昭和28年より毎年、その前年を代表する映画シナリオを収録する「年鑑

代表シナリオ集」を発行している。当委員会では収録候補作を取り寄せ、委員が作品を読んだ上で、編纂委員会を開催し、慎重な討議を重ね、収録作を決定している。また、より多くの方々の意見を反映するために、毎年、編纂委員会の前に、全会員から掲載候補作品の推薦を募っている。会員各位のご協力をお願いしたい。

なお、以前は編纂のみを当協会が行い、出版はその時代ごとに三笠書房、ダヴィッド社、映人社が行ってきたが、平成15年度('02年版)より、文化庁・芸術団体人材育成支援事業として、当協会が委託を受けて助成事業として、編纂と出版を行っており、23年度発刊予定の'10年鑑代表シナリオ集も同様に実施する予定である。

厳しい財政状況のため、15年発刊の「笠原和夫 人とシナリオ」を最後に、新刊の制作を見合わせている。財政再建の目途が立てば、制作を留保している「依田義賢人とシナリオ」の制作に取り組む予定である。

書籍は経年劣化が避けられないため、できるだけ早く既刊書籍を有効活用する必要がある。教育機関等で講師をされている会員諸氏には教材購入等でご協力いただいているが、今後も引き続きお願いしたい。

シナリオ誌の企画・編集・営業・製作を行っているマルヨンプロダクションとの契約に基づき、同誌を監修しており、年間720,000円(月60,000円)の監修料収入を得ている。委員会では、発行人としてのシナリオ作家協会の意見をより反映させるために、原則3ヶ月に一度、マルヨンプロダクション担当者を交えて委員会を開催している。今後もよりよい誌面にするため、活発な委員会活動を目指していく。同誌の販売部数も伸ばすためにも、引き続き会員諸氏の貴重なご意見を、窓口である当委員会まで是非お寄せ頂きたい。

未映画化シナリオをシナリオ誌へ掲載する活動をしている。作者の掲載依頼があった際、委員長ならびに委員長指名の複数会員がその都度委員会を構成し、掲載について検討する。未発表作品をお待ちしている。

4. 文化事業に関する事項

1) 国際交流委員会 旧日中シナリオシンポジウム委員会、日韓交流委員会 (担当：加藤正人(長))

23年度より、委員会を編成し直し、日中シナリオシンポジウム対策委員会、日韓交流委員会をまとめて「国際交流委員会」とすることとした。

日中シナリオシンポジウムは毎年、「中国電影家協会」との共催で開催しており、23年度で第26回を迎える。第1回を北京で開催し、それ以降、隔年毎に両国が開催地を提供している。毎回、日中両国から脚本家をはじめとした映像関係者が参加し、両国作品の上映会や討論会、開催地の映像施設の視察等を行っている。今年度は、日本での開催を予定している。資金の問題で、21年度からは、規模を縮小して実施しており、今年度も同様のかたちで、なおかつ放送文化基金より助成を得て実施する予定である。

なお、当協会の財政問題や、当シンポジウムの意義などを、数年に渡り、理事会、委員会で検討した結果、残念ながら、今年度限りで当シンポジウムの運営を休止することとした。24年度以降は、会員個人での交流を主とすることとし、当委員会は、その窓口として機能する予定である。

韓国シナリオ作家協会との交流を通じて、日韓両国のシナリオ文化の向上発展、日韓共同脚本、韓国の優れたシナリオの翻訳・出版等を目的として活動していた。財政状況等により、20年度から会員の自主運営組織となっている。毎月のシナリオ誌の発送等の交流は続けられており、財政再建の目途が立てばまたシンポジウム等を開きたいと願っている。

5. その他目的を達成するために必要な事業に関する事項

1) 合同常務会

(担当：柏原寛司 荒井晴彦、加藤正人、西岡琢也、佐伯俊道、伴一彦、丸内敏治、山田耕大、白鳥あかね)

協同組合日本シナリオ作家協会とシナリオ会館の常務理事と合同で運営している。23年度は「公益法人制度改革問題」「シナリオ作家協会『菊島隆三賞』」「シナリオ会館再建準備」等について取り組む予定である。

「公益法人制度改革問題」については、平成24年4月に一般社団法人へ移行するべく各準備をすすめている。2011年5月開催予定の予算総会で、一般社団法人への移行案、定款変更案・規約案について、会員各員の承認を得た後、移行手続きを進める予定である。ご理解、ご協力をお願いしたい。

2) 総務委員会

(担当：加藤正人(長) 荒井晴彦)

法人の資産状況を管理、委員会活動等の予算の執行全般に関与し、財務体質の強化及び健全な財政運営を図っている。また事務局人事の充実にもつとめている。委員会の性格上、協同組合日本シナリオ作家協会ならびに株式会社シナリオ会館の委員と共に合同総務委員会として活動している。課題は、赤字体質である社団の財政再建であり、今後も継続して取り組みたい。

3) シナリオ倶楽部委員会

(担当：港岳彦(長))

当協会の自主運営勉強会の「シナリオ倶楽部」を運営している。当協会から年間 20 万円の運営補助金が支給されている。

「シナリオ倶楽部」は、主に協会の作品を上映して、作者本人から解説をしていただくという集まりで、毎月第 3 月曜日午後 5 時より、シナリオ会館 3F シナリオ講座教室を主会場に開催している。協会の勉強会ではあるが、シナリオ講座、通信講座の受講経験者や、協会の紹介を受けた方にも参加資格がある。終了後は 6F ライターズサロンで懇親会を開催し、ゲストと参加者の交流を図っている。脚本家は仕事の性質上、仲間同士の交流が少なく、特に新たに入会された方々が横の繋がりを持つことが難しい傾向がある。「シナリオ倶楽部」はそういった問題の解消をはかることも目的の一つにしている。毎月の開催内容はシナリオ誌の「シナリオ倶楽部新聞」欄に掲載している。今後も協会をはじめとして多数の方々にお気軽にご参加いただきたい。

4) 「WOWOWシナリオ大賞」審査協力

19 年度より毎年、「WOWOWシナリオ大賞」の一次審査を受託しており、会員各位に審査員を引き受けていただいている。今後ご協力をお願いしたい。

平成 23 年度 社団法人シナリオ作家協会 主なスケジュール

平成 23 年

- 4 月 シナリオ通信講座 第 39 期スタート
シナリオ講座 第 57 期基礎科・第 56 期研修科開講（6 ヶ月）
- 5 月 第 24 回シナリオ作家協会大伴昌司賞最終審査会
通常総会開催 各種コンクール表彰式同日開催。
- 7 月 シナリオ通信講座 2011 年夏の公開講座開催
『'10 年鑑代表シナリオ集』発刊
- 9 月 第 21 回新人シナリオコンクール開催
第 26 回日中シナリオシンポジウム開催
- 10 月 シナリオ講座 第 58 期基礎科・第 57 期研修科開講（6 ヶ月）
- 11 月 第 14 回シナリオ作家協会「菊島隆三賞」開催
- 12 月 忘年会

平成 24 年

- 3 月 第 14 回シナリオ作家協会「菊島隆三賞」授賞式開催
第 21 回新人シナリオコンクール最終審査会開催
- 理事会 毎月第 1 月曜日 14:00～
シナリオ倶楽部 毎月第 4 月曜日 17:00～